

第 13 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.03
	近畿地方			

[問題 1]

次の各問いに答えよ。

- (1) 大阪は、江戸時代、各地の物産を集めて売り買いする流通の拠点だったことから、何とよばれていたか。
- (2) 大阪が商業都市として発展した理由を「水運、消費地」の語句を使って答えよ。

[解答欄]

(1) 天下の台所

(2) 瀬戸内海や琵琶湖の水運を利用できたことや、周辺で商品作物の生産がさかんだったことや、京都や奈良などの消費地が近くにひかえていたため。

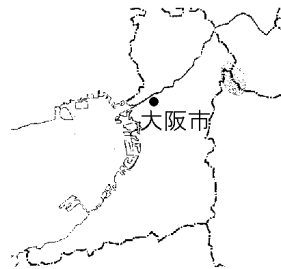
[解説]

[商業都市 大阪]

江戸時代:蔵屋敷がおかれ、天下の台所



現在も、卸売業などの商業がさかん



古代から交通の要所であった大阪は、江戸時代には全国の米や物産の集散地となり、それらを貯蔵、販売するために蔵屋敷がおかれ、日本最大の商業都市として栄えていた。そのため、当時、大阪は「天下の台所」とよばれていた。明治以降も卸売業などの商業が発展した。

大阪がこのように発展した背景としては、瀬戸内海や琵琶湖の水運を利用できたこと、周辺で商品作物の生産がさかんだったこと、京都や奈良などの消費地が近くにひかえていたことなどがあげられる。

[問題 2]

大阪大都市圏(京阪神大都市圏)の三大都市の組み合わせとして正しいものを1つ選べ。

- ア 大阪市・神戸市・京都市
- イ 大阪市・奈良市・神戸市
- ウ 大阪市・京都市・奈良市

[解答欄]

ア

[解説]

[大阪大都市圏]

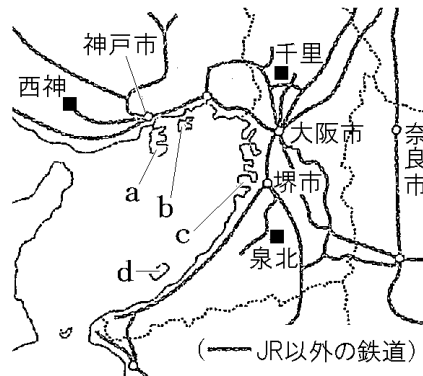
大阪市、神戸市、京都市
を中心に広がる大都市圏

近畿地方は大阪平野に人口が集中している。特に大阪湾の沿岸には、人口の多い都市が連続して分布している。しかし、地価の高い都市の中心部を避けて郊外に住む人も多く、そこから通勤・通学する人々も少なくない。大阪市を中心に神戸市や京都市など、人やものの移動で強いつながりを持つ地域を、大阪大都市圏(京阪神大都市圏)という。



[問題 3]

次の資料をみて、各問いに答えよ。



- (1) 都市の過密を解消するためにつくられた、地図中の■を何というか。
- (2) 神戸市が建設したポートアイランドを、地図中の a～d から選べ。

[解答欄]

(1) ニュータウン	(2) a
------------	-------

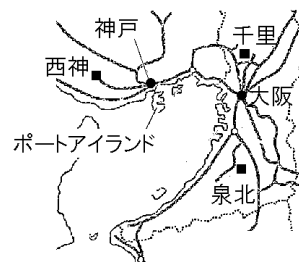
[解説]

〔ニュータウン〕

人口増加による宅地不足を解消するため

大阪：千里ニュータウン，泉北ニュータウン

神戸：丘陵地をけずって西神ニュータウンなど
得られた土で埋め立て→ポートアイランド



大阪大都市圏(京阪神大都市圏)は、東京大都市圏について人口が集中している地域である。

大阪では、人口増加によって宅地が足りなくなったため、周辺の丘陵を切り開いて、千里ニュータウンや泉北ニュータウンなどのニュータウンがつけられた。

神戸市は、海と山の間にあり、都市の発展に限界があった。そこで考えられたのが、海と山の一体的な開発である。神戸市は、丘陵地を切り開き、西神ニュータウンなどの建設を行った。

丘陵をけずって得られた土は、沿岸の埋め立てに利用された。

この埋め立てによって誕生したのが、ポートアイランドである。

そこには大型船が接岸できる埠頭やマンション、商業施設が整備され、海上のニュータウンとなった。

今日では、先端的な医療研究施設が集められたり、沖合に神戸空港がつけられたりするなど、新たな動きが見られる。

[問題 4]

次の各問いに答えよ。

- (1) 京都や奈良は、古代の都があったことから何とよばれているか。
漢字 2 字で答えよ。
- (2) 京都や奈良には歴史的な価値のある文化財が多いため、ユネスコによって何に登録されているか。
- (3) 右の資料は、京都市内のコンビニエンスストアである。



このコンビニエンスストアの店の外観に工夫が見られる理由を、「景観」の語句を使って説明せよ。

[解答欄]

(1) 古都	(2) 世界文化遺産
(3) 歴史的に形成されてきた景観や町並みと調和を図るため。	

[解説]

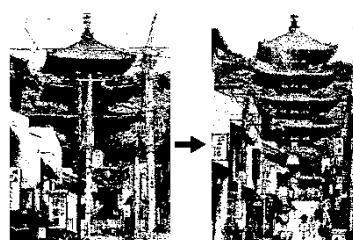
[古都]

京都・奈良の文化財：世界文化遺産

京都市新景観条例

景観や町並みをそこなわないようにするため

店の看板・建物の高さ・デザインなど規制



京都や奈良は、古代の都があったことから**古都**とよばれている。(奈良には 710 年に平城京が、京都には 794 年に平安京がつくられた)

京都と奈良は、日本の伝統文化を伝える観光地としての役割も担っている。京都市と奈良市の文化財の多くは、その歴史的価値が評価され、**世界文化遺産**に登録された。

京都市は、このように**歴史的に形成されてきた景観や町並みと調和を図る**ように、**店の看板、建物の高さ、デザインなどを規制**する**京都市新景観条例**を 2007 年に定めた。

右上の写真は、京都市内のコンビニエンスストアで、京都の町並みに調和した外観になっている。

右の写真のように、電線を地下に埋めて電柱をなくして塔や町並みを美しく見えるようにしている。

また、伝統的な住居を保存するために、住む人がなくなった町家の内部を改装して利用する取り組みを行っている。

[問題 5]

京都市が景観を守るために行っていることとして適当でないものを、次のア～エから 1 つ選べ。

- ア 電線を地面にうめている。
 イ 建物の高さやデザインなどに規制を設けている。
 ウ 伝統的な住居を保存するために、住む人がいなくなった町家の内部を改装して利用する取り組みを行っている。
 エ 京都のすぐれた眺めが見られるように、近代的な高層ビルを建てている。

[解答欄]

エ

[問題 6]

次の資料と地図を見て各問いに答えよ。



	農業生産額(十億円) (2011 年)	工業出荷額(十億円) (2010 年)	商品販売額(十億円) (2007 年)	府県庁所在地人口(千人) (2012 年)
A	70	4878	7396	1382
B	34	15893	61660	2543
C	146	14245	13269	1512
D	44	1936	2126	363

- (1) 地図の①～④は資料の A～D のいずれかの府県である。資料の B の府県名を書け。また、その位置を地図の①～④から選べ。
- (2) 資料の A～D のいずれかの府県について述べている次の文から D にあてはまるものを選べ。
- ア 紀伊山地では吉野すぎのような特色ある木材を生産している。
 イ 本州四国連絡橋の 1 つである明石海峡大橋が通っている。
 ウ 淀川河口付近でテーマパークの建設など再開発が進んでいる。
 エ 西陣織などの伝統産業や町家などの町なみが残っている。

[解答欄]

(1) 大阪府、③

(2) ア

[解説]

表の B は、商品販売額と府県庁所在地人口が最も多いことから大阪府(地図の③)と判断できる。

B について工業出荷額が多い C は兵庫県(地図の①)とわかる。

A と D は残りの京都府(地図の②)と奈良県(地図の④)であるが、府県庁所在地人口が 100 万人をこえる A が京都府と判断できる。したがって、D は奈良県である。

(2)のアは奈良県、イは兵庫県、ウは大阪府、エは京都府である。

(統計修正)「日本国勢図会 2013/2014」P534・535・77～